

しゃっちょうは行く!

26

Broaden your horizons ②⑥ ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。まずは、今回震災に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。さて、日本が危機的状況に陥りました。メディセレでも東京校が被害を受けましたが、エントランスとひび割れ7カ所、本棚が倒れたこと

による出荷前の本の被害ぐらいで難を逃れました。1週間早ければ国家試験直撃でしたが、国家試験も終了した後でしたので、職員が帰れない、出勤できないくらいで幸いでした。しかし、当日はいわき明星大学でメディセレの模擬試験実施予定でした。大学と連絡が取れず、とても心配しております。千葉科学大学も海岸沿いに大学があるので心配していましたら、本部は津波で被害を受けてしまったそうですが、薬学棟は無事との連絡がきて、少しホッといたしました。ただ、被害を受けた大学や学生が他にもいらっしゃるのではないかと心が痛みます。

私は阪神大震災の年の神戸薬科大学卒業生です。あのときはこんな凄い地震はもう無いだろうと思いましたが、それを超える地震が起ってしまいました。あのときは何をすればよいのかわからず、ただ、テレビに見入ったり、被災した寮や神戸の友人を大阪の実家に呼んでお世話するぐらいしかできませんでした。経済人となり、国境なき奉仕団や医療部会に支援要請が来るようになり、運送会社や販売業の社長、ドクター、自衛隊とあらゆる人脈を使いながら調整する立場となりましたが、やはり、無力さを感じております。せっかく到着した医療チームが診断できても治療ができないのです。電力も自家発電で限りがあるため、人工呼吸器が止まってしまうのです。震災現場ではまだまだ大変な事態が続きます。今回、処方せんがなくても、患者さんが今まで飲んでいる薬を持ってきたり、飲んでいた薬の名前を伝えたりすれば、薬剤師の判断で薬を調剤できる措置が取られました。今後は、非常持ち出し物品にお薬手帳を入れてもらうよう指導する必要もあると、今回痛切に思いました。

そして、これからがまだ長いのです。今は、今できることがある者に任せて、次からの長い段階で協力できることを探し、援助し続けていきたいと思います。

日本人はこんなことでは負けません。生かされていることに改めて感謝し、助けを求めるものに手を差し伸べ続けていきたいと思います。電気を消す……こんな小さなことでもよいのです。一人の小さな思いやりでも、集まれば凄いパワーになるのです。一日も早い復興を心より願っております。今できることから始め、復旧に向けてがんばっていきましょう。

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子